Press Release
ブライダル総研

株式会社リクルート

2021年11月4日

結婚総合意識調査2021

ウエディングイベントを実施したいとの回答は8割超で昨年調査から微増も 実施率は7割に。コロナ禍で延期・キャンセルを余儀なくされている

結婚式ゲストが出席して「良かった」「感動した」割合は、過去2回調査と比較して最多

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）が企画運営する結婚情報誌『ゼクシィ』は、結婚や結婚式について詳細を把握するために、「結婚総合意識調査2021」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

1. 既婚編（調査対象：2020年4月～2021年3月に結婚した20～49歳の男女）

コロナ禍におけるウエディングイベント実施者は71.1%、ウエディングパーティー実施者は53.1%

一方で、結婚前のウエディングイベントの実施意向率は80.6%、ウエディングパーティー実施意向率は62.5%で、共に昨年より微増。実施意向はあるものの、新型コロナウイルスの影響により、延期・キャンセルを余儀なくされていることが推察される。（→P4-5）

「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他ウエディングパーティー」のいずれかのイベント非実施者のうち、新型コロナウイルスの影響を受け延期、またはキャンセルしたと回答した割合は半数以上

「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他ウエディングパーティー」のいずれかの非実施者のうち約3人に1人は、新型コロナウイルスの影響を受けて延期したが、いつかは実施する予定と回答。新型コロナウイルスの収束を待って、ウエディングパーティーの実施を希望している層がいることが推察される。（→P6）

挙式、ウエディングパーティーで実現できたことは「今後のライフプランを考えるきっかけになった」が昨年より増加

コロナ禍という特殊な状況下において、結婚という人生の節目となる挙式、ウエディングパーティーを実施することで、自分の人生を改めて考える機会になったことがうかがえる。（→P8）

2. ゲスト編（調査対象：2020年4月～2021年3月に結婚式にゲストとして出席した20歳以上の男女）

挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの参加を迷った割合は3割、迷わなかったと答えた割合は56%

迷わなかったと答えた割合を招待時期別に見ると、2020年4月～6月の46%を底に増加し2020年10月~2021年3月に招待された人では6割が迷わなかったと回答。（→P10）

コロナが理由で参加を迷った人では、出席して良かったと答えた割合は約4人に3人。当日の感染症対策の状況が、コロナにより参加を迷った出席者の満足度に大きく影響。（→P13）

挙式、披露宴・ウエディングパーティーを楽しみにする気持ちは、過去2回調査よりも高まっている

招待されてから出席するまでの気持ちとしては、新郎新婦の晴れ姿や、友人・親戚に久しぶりに会えることを楽しみにしていた、自分を大切にしてくれていると感じた等の割合が、過去2回の調査結果と比較して高い。（→P10）

出席して良かった、感動した、と答えた割合は、過去2回の調査と比較して最多に

親・家族以外のゲストの良かった、楽しかった、感動した割合を年代別に見てみると、60代以上が特に高い傾向があり、高齢の親族が結婚式に参加して喜んでいる様子がうかがえる。（→P11）

結婚式ならではの良さは、非日常の場での感動や、人が集まる場としての価値、自分自身を振り返る場

結婚式ならではの良さだと思うことは、新郎新婦の幸せな姿を見られたことに対しての喜びの他に、他の出席者と交流できることや、新郎新婦と周りの人との関係性について理解が深まる等、人が集まる場としての価値が挙げられている。また、結婚式や新郎新婦の姿を通して、出席者自身が家族や夫婦の良さを改めて感じたり、自分自身や自分の大切な人・仲間について改めて振り返る場になっている。（→P12）

本件に関するお問い合わせ先
https://www.recruit.co.jp/support/form/

【調査概要】既婚編

『リクルートブライダル総研』による「結婚総合意識調査」は、「既婚編」と「ゲスト編」の2調査を実施しています。

■2021年調査の概要

【調査方法】　インターネットによるアンケート調査

＜予備調査（スクリーニング調査）＞

【調査期間】 2021年5月10日(月)～2021年6月04日(金)

【調査対象】 全国16～79歳の男女（株式会社マクロミル　登録モニター）

【有効サンプル数】 267,189人

＜本調査＞

【調査期間】 2021年5月20日(木)～2021年6月04日(金)

【調査対象】 “結婚した時期”を「2020年4月～2021年3月」と回答した，20～49歳（調査時）の既婚者

【有効サンプル数】 2,541人

【集計サンプル数】 1,500人

＜配信割り付け＞

「厚生労働省 人口動態統計 2019年婚姻件数・夫－妻の結婚生活に入ったときの年齢（各歳）・夫妻の平均婚姻年齢・初婚－再婚・都道府県別」を基に全国を17エリア×性別×年代（計102セル）ごとの婚姻件数比率になるようにサンプル数を割り付けた。

【集計サンプルの性別×結婚時の年齢×居住地域 構成】

		北海道*	東北	北関東	北陸甲信越*	首都圏*	東海*	関西*	中国	四国	九州・沖縄*
男性（人）	20代（19歳含む）	13	22	17	33	102	35	64	26	10	39
	30代	10	16	16	25	87	28	44	12	9	35
	40代	4	6	4	9	29	9	17	6	1	10
女性（人）	20代（19歳含む）	14	25	21	41	128	48	74	27	11	49
	30代	10	17	13	22	78	19	43	13	7	30
	40代	3	3	3	3	18	6	10	4	2	7

*「北海道・女性」「北陸甲信越・男性/女性」「首都圏・男性/女性」「東海・女性」「関西・男性/女性」「九州・沖縄・男性」において、結婚時の年齢を不明処理しているサンプルが各1～3あり、年齢別分析では除いている

■過去調査（2020年調査）の概要

【調査方法】　インターネットによるアンケート調査

＜予備調査（スクリーニング調査）＞

【調査期間】 2020年4月17日(金)～2020年6月3日(水)

【調査対象】 全国16～79歳の男女（株式会社マクロミル　登録モニター）

【有効サンプル数】 268,947人

＜本調査＞

【調査期間】 2020年5月1日(金)～2020年6月3日(水)

【調査対象】 “結婚した時期”を「2019年4月～2020年3月」と回答した、20～49歳（調査時）の既婚者

【有効サンプル数】 2,326人

【集計サンプル数】 1,500人

＜配信割り付け＞

「厚生労働省 人口動態統計 2018年婚姻件数・夫－妻の結婚生活に入ったときの年齢（各歳）・夫妻の平均婚姻年齢・初婚－再婚・都道府県別」を基に全国を17エリア×性別×年代（計102セル）毎の婚姻件数比率になるようにサンプル数を割り付けた。

【集計サンプルの性別×結婚時の年齢×居住地域 構成】

		北海道	東北*	北関東*	北陸甲信越*	首都圏*	東海	関西	中国	四国	九州・沖縄*
男性（人）	20代（19歳含む）	13	24	17	33	96	35	61	25	8	42
	30代	9	15	16	26	91	30	48	14	8	31
	40代	4	6	3	7	31	7	18	5	3	11
女性（人）	20代（19歳含む）	16	28	21	44	130	50	77	26	14	51
	30代	9	15	13	19	78	19	41	13	6	29
	40代	3	3	3	5	16	6	10	4	1	6

*「東北・男性」「北関東・男性」「北陸甲信越・男性」「首都圏・男性/女性」「九州・沖縄・男性」において、結婚時の年齢を不明処理しているサンプルが各1～2あり、年齢別分析では除いている

【調査概要】ゲスト編

『リクルートブライダル総研』による「結婚総合意識調査」は、「既婚編」と「ゲスト編」の2調査を実施しています。

■2021年調査の概要

【調査方法】　インターネットによるアンケート調査

＜予備調査（スクリーニング調査）＞

【調査期間】 2021年5月18日(火)～2021年5月24日(月)

【調査対象】 全国20歳以上の男女（株式会社マクロミル　登録モニター）

【有効サンプル数】 40,000人

＜本調査＞

【調査期間】 2021年5月22日(土)～2021年5月27日(木)

【調査対象】 「2020年4月～2021年3月」に結婚式にゲストとして出席したと回答した人

【有効サンプル数】 832人

【集計サンプル数】 800人

＜配信割り付け＞

予備調査で抽出した本調査条件該当者全体（1年以内に結婚式にゲストとして出席した人）の性別・年代ごとの構成比に合わせて、サンプル数を割り付けた。

【集計サンプルの性別×年代 構成】

	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
男性（人）	128	94	50	32	118	800
女性（人）	130	94	24	34	96	

■過去調査（2018年／2017年調査）の概要

	2018年調査	2017年調査
調査方法	インターネットによるアンケート調査	インターネットによるアンケート調査
調査期間	1次調査：2018年5月14日（月）～2018年5月18日（金） 2次調査：2018年5月18日（金）～2018年5月21日（月）	1次調査：2017年5月16日（火）～2017年5月19日（金） 2次調査：2017年5月19日（金）～2017年5月22日（月）
調査対象	全国の20～60歳の男女 過去1年間で結婚式にゲストとして出席したと答えた人	全国の20～60歳の男女 過去1年間で結婚式にゲストとして出席したと答えた人
有効サンプル数	1次調査：20,000人 2次調査：832人	1次調査：20,000人 2次調査：832人

※2020年、2019年はゲスト編の調査非実施

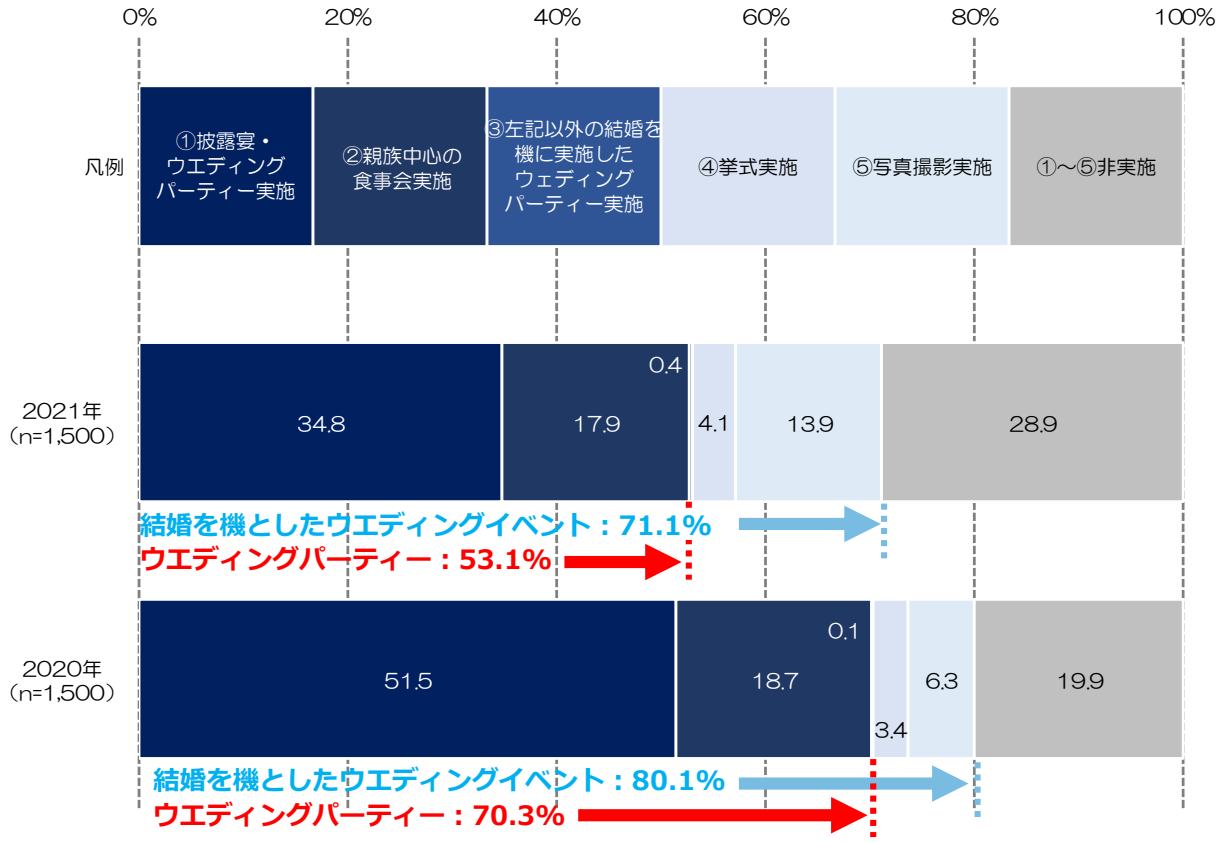
【イベント実施率（前年比較）】 既婚編

➢ **コロナ禍においても、ウエディングイベント実施者は7割以上。ウエディングパーティー実施者も半数以上いる。**

■ 結婚を機としたイベント実施状況（全体／単一回答）

※ウエディングパーティー：「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他のウエディングパーティー」の総称。「結納・顔合わせ」「結婚（挙式）前の祝賀・婚約パーティ」「2次会」の実施は含まない
※実施したイベント（「これから実施する予定（時期や内容もほぼ決まっている）」含む）をいくつでも選択した結果を組み合わせて単一回答化している。組み合わせは以下の通り

- **①披露宴・ウエディングパーティー実施者**：「披露宴・ウエディングパーティー実施かつ、親族中心の食事会、その他のウエディングパーティー、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「披露宴・ウエディングパーティーのみ実施」
- **②親族中心の食事会実施者**：①以外で「親族中心の食事会実施かつ、その他のウエディングパーティー、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「親族中心の食事会のみ実施」
- **③その他のウエディングパーティー実施者**：①②以外で「その他のウエディングパーティー実施かつ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施」と「その他のウエディングパーティーのみ実施者」
- **④挙式実施者**：①②③以外で「挙式実施かつ、写真撮影実施」と「挙式のみ実施」
- **⑤写真撮影実施者**：「写真撮影のみ実施」（①②③④非実施）



※図表の構成比（%）は百分率で表示してあります。百分率は小数第2位を四捨五入してあるため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、図表の平均も小数第2位を四捨五入して表示してあります。

【結婚前の各イベント実施意向率（前年比較）】 既婚編

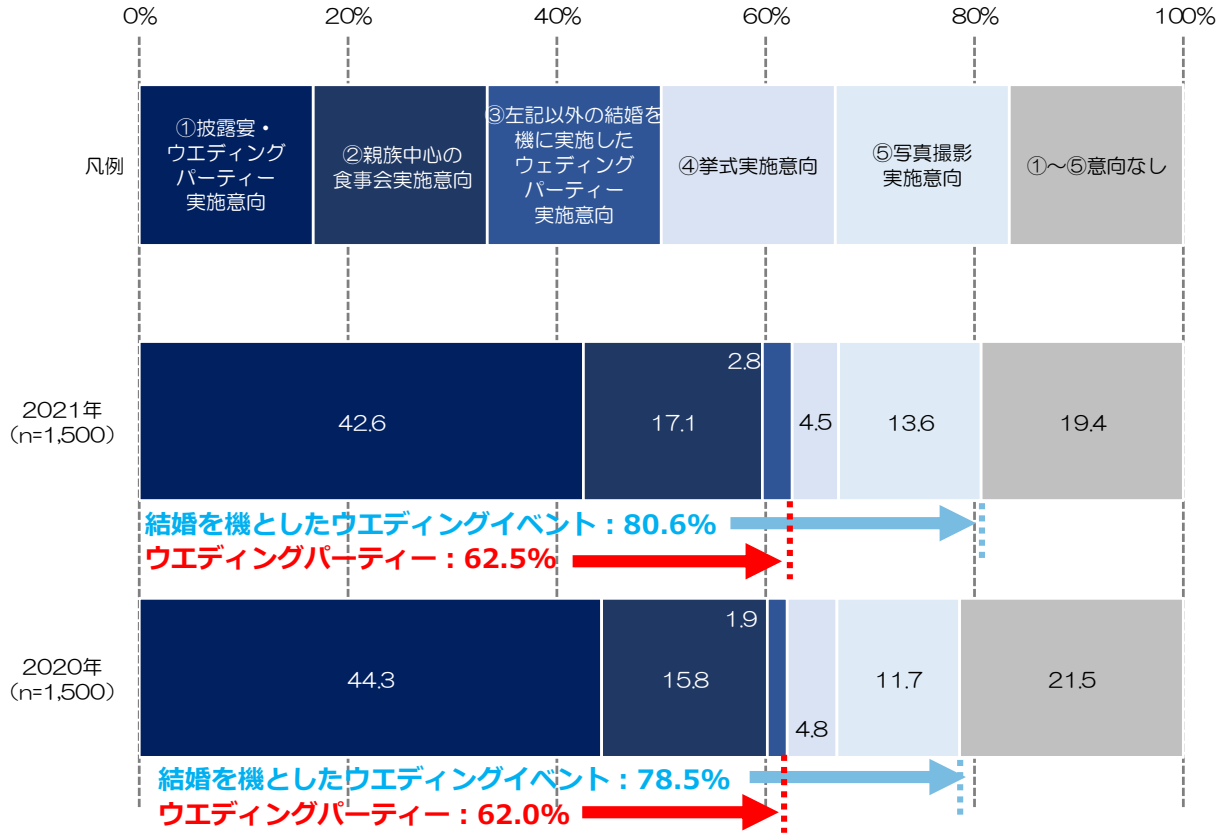
➢ **結婚前の、結婚を機としたウエディングイベントの実施意向率、ウエディングパーティーの実施意向率は、共に昨年より微増でほぼ横ばい。**

→ 実施意向はあるものの、新型コロナウイルスの影響により、延期・キャンセルを余儀なくされていることが推察される。

■ 結婚前の各イベント実施意向率（全体／単一回答）

※ウエディングパーティー：「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他のウエディングパーティー」の総称。「結納・顔合わせ」「結婚（挙式）前の祝賀・婚約パーティー」「2次会」の実施は含まない
※実施したいイベント（「実施したかった」）をいくつでも選択した結果を組み合わせて単一回答化している。組み合わせは以下の通り

- **①披露宴・ウエディングパーティー実施意向者**：「披露宴・ウエディングパーティー実施かつ、親族中心の食事会、その他のウエディングパーティー、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施意向あり」と「披露宴・ウエディングパーティーのみ実施意向あり」
- **②親族中心の食事会実施意向者**：①以外で「親族中心の食事会実施かつ、その他のウエディングパーティー、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施意向あり」と「親族中心の食事会のみ実施意向あり」
- **③その他のウエディングパーティー実施意向者**：①②以外で「その他のウエディングパーティー実施かつ、挙式、写真撮影のいずれか、あるいはすべて実施意向あり」と「その他のウエディングパーティーのみ実施意向あり」
- **④挙式実施意向者**：①②③以外で「挙式実施かつ、写真撮影実施意向あり」と「挙式のみ実施意向あり」
- **⑤写真撮影実施意向者**：「写真撮影のみ実施意向あり」（①②③④実施意向なし）



※図表の構成比（%）は百分率で表示してあります。百分率は小数第2位を四捨五入してあるため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、図表の平均も小数第2位を四捨五入して表示してあります。

【コロナ影響（単年）】　既婚編

- 「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他ウエディングパーティー」のいずれかのイベント非実施者のうち、新型コロナウイルスの影響を受け延期、またはキャンセルしたと回答した割合は半数以上。
- 「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他ウエディングパーティー」のいずれかの非実施者のうち約3人に1人は、新型コロナウイルスの影響を受けて延期したが、いつかは実施する予定と回答。

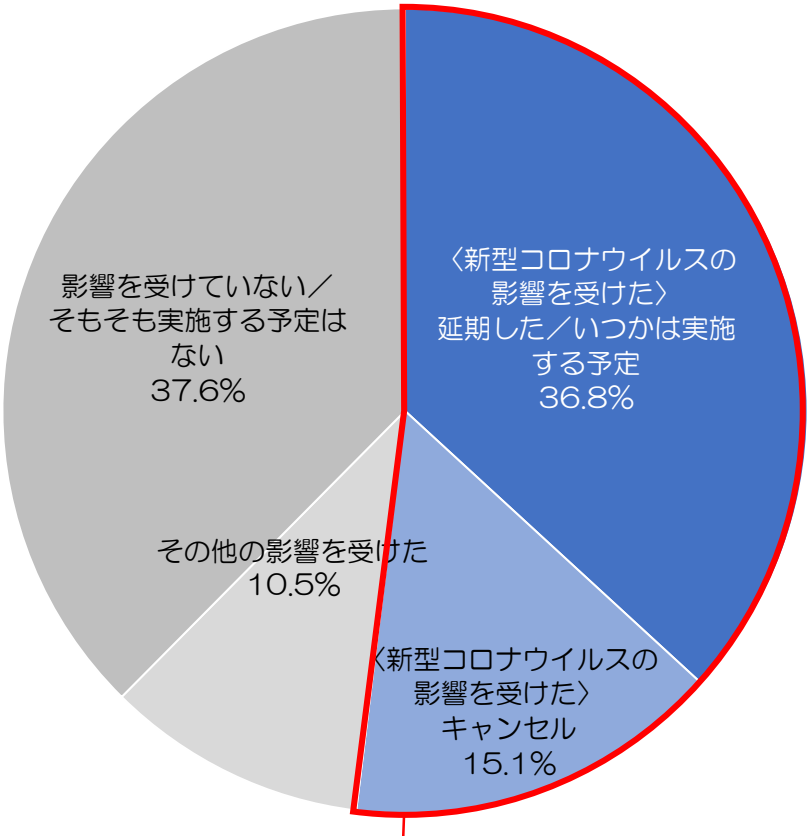
→ 新型コロナウイルスの収束を待って、ウエディングパーティーの実施を希望している層がいることが推察される。

■ ウエディングパーティー非実施理由におけるコロナ影響の割合
（「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他ウエディングパーティー」のいずれかのイベントを非実施／各単一回答）

※「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「上記以外の結婚を機に実施したウエディングパーティー」個別で聴取した延期・キャンセル状況を統合し、以下のルールにて選択肢をまとめた
- **〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉延期した／いつかは実施する予定**：「〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉予約していた会場・プランなどを延期した」「〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉予約していた会場・プランなどをキャンセルした（いつかは実施する予定）」「〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉 特に予約はしていないが、時期を延期した」
- **〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉キャンセル**：「〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉予約していた会場・プランなどをキャンセルした（これからも実施する予定はない）」「〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉特に予約はしていないが、実施するのをやめた（これからも実施する予定はない）」
- **その他の影響を受けた**：「〈その他の影響を受けた〉予約していた会場・プランなどを延期した」「〈その他の影響を受けた〉予約していた会場・プランなどをキャンセルした（いつかは実施する予定）」「〈その他の影響を受けた〉予約していた会場・プランなどをキャンセルした（これからも実施する予定はない）」「〈その他の影響を受けた〉特に予約はしていないが、時期を延期した」「〈その他の影響を受けた〉特に予約はしていないが、実施するのをやめた（これからも実施する予定はない）」

※そのうえで、「〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉延期した／いつかは実施する予定」 「〈新型コロナウイルスの影響を受けた〉キャンセル」 「その他の影響を受けた」「影響を受けていない／そもそも実施する予定はない」の順に単一回答になるよう加工した

n=1,344



新型コロナウイルスの影響を受け延期、またはキャンセルした：51.9%

※図表の構成比（%）は百分率で表示してあります。百分率は小数第2位を四捨五入してあるため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、図表の平均も小数第2位を四捨五入して表示してあります。

【各イベント実施率（前年比較）】

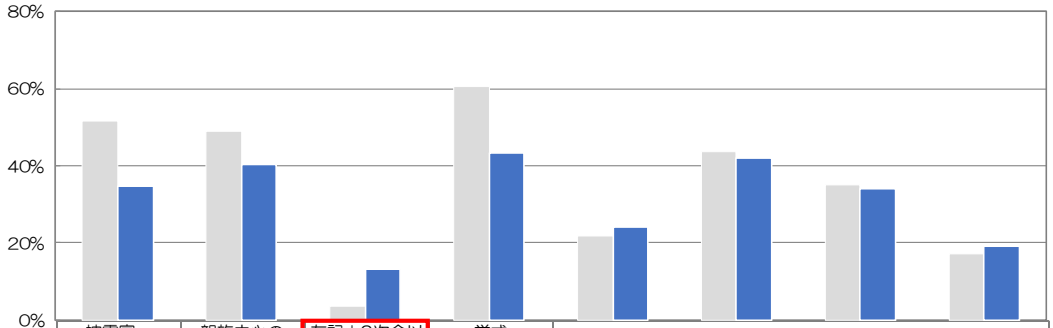
既婚編

- その他ウエディングパーティー（「披露宴・ウエディングパーティー、親族食事会、２次会以外の結婚を機に実施するウエディングパーティー」）と、エンゲージメントフォト、その他ウエディングフォト（「エンゲージメントフォト・スタジオ撮影・ロケーション撮影以外の結婚を機に実施するウエディングフォト・写真撮影会」）の実施率が昨年よりも増加。
- 昨年よりも実施率が上昇した上記3イベントは、挙式、披露宴・ウエディングパーティー、親族食事会と並行して実施している傾向。
- 各ウエディングイベント実施者が、その他ウエディングパーティーや写真撮影を並行して実施する割合が昨年と比較して増加。

→コロナ禍において「今できる」形を模索する形で、ウエディングイベントを複数組み合わせて実施している様子が推察される。

■ 各イベント実施率（全体／各単一回答）

※実施とは「これから実施する予定（時期・内容ほぼ決定）」「実施した」を合計した割合



	n数	披露宴・ウエディングパーティー	親族中心の食事会	左記＋2次会以外の結婚を機に実施するウエディングパーティー	挙式	写真：エンゲージメントフォト ※業者に依頼する、デートなどの思い出の場所に出かけ、私服で行う記念撮影	写真：スタジオ撮影 ※挙式や披露宴・披露パーティー当日もしくは別の日に、業者に依頼しスタジオで、ウエディングドレス等を着て行う記念撮影	写真：ロケーション撮影 ※挙式や披露宴・披露パーティー当日もしくは別の日に、業者に依頼し屋外に出かけ、ウエディングドレス等を着て行う記念撮影	写真：左記以外の結婚を機に実施するウエディングフォト・写真撮影会
2021年	1,500	34.8	40.2	13.3	43.5	24.3	42.1	34.1	19.3
2020年	1,500	51.5	49.1	3.5	60.5	21.8	43.6	35.2	17.3
2021年-2020年（pt）		-16.7	-8.9	9.8	-17.0	2.5	-1.5	-1.1	2.0

(%)

■ 各イベント実施組み合わせ（全体／複数回答）

※ピンク色のアミ掛けは、対昨年比較で増加している割合（ポイント）

	n数	披露宴・ウエディングパーティー %	披露宴・ウエディングパーティー 昨対比	親族中心の食事会 %	親族中心の食事会 昨対比	左記＋2次会以外の結婚を機に実施するウエディングパーティー %	左記＋2次会以外の結婚を機に実施するウエディングパーティー 昨対比	挙式 %	挙式 昨対比	エンゲージメントフォト %	エンゲージメントフォト 昨対比	スタジオ撮影 %	スタジオ撮影 昨対比	ロケーション撮影 %	ロケーション撮影 昨対比	左記以外の結婚を機に実施するウエディングフォト・写真撮影会 %	左記以外の結婚を機に実施するウエディングフォト・写真撮影会 昨対比
全体（実質実施率）	1500	34.8	-16.7pt	40.2	-8.9pt	13.3	9.8pt	43.5	-17.0pt	24.3	2.5pt	42.1	-1.5pt	34.1	-1.1pt	19.3	2.0pt
披露宴・ウエディングパーティー	522	100.0	0.0pt	64.2	5.3pt	35.2	29.0pt	97.1	-1.1pt	50.0	15.7pt	66.1	3.1pt	64.8	10.5pt	41.0	12.6pt
親族中心の食事会	603	55.6	-6.2pt	100.0	0.0pt	31.0	24.2pt	67.7	-6.2pt	45.8	9.3pt	60.0	3.7pt	49.3	2.4pt	36.3	7.2pt
上記＋2次会以外の結婚を機に実施するウエディングパーティー	199	92.5	1.9pt	94.0	-0.3pt	100.0	0.0pt	94.0	-0.3pt	87.4	11.9pt	91.5	6.6pt	87.9	6.8pt	85.9	12.3pt
挙式	652	77.8	-5.7pt	62.6	2.7pt	28.7	23.2pt	100.0	0.0pt	44.5	13.6pt	63.2	4.1pt	60.3	8.6pt	35.7	9.7pt
エンゲージメントフォト	364	71.7	-9.3pt	75.8	-6.5pt	47.8	35.6pt	79.7	-6.2pt	100.0	0.0pt	81.6	5.8pt	79.1	4.5pt	58.8	5.9pt
スタジオ撮影	631	54.7	-19.6pt	57.4	-5.9pt	28.8	21.9pt	65.3	-16.8pt	47.1	9.2pt	100.0	0.0pt	58.5	3.1pt	37.7	7.4pt
ロケーション撮影	511	66.1	-13.3pt	58.1	-7.2pt	34.2	26.1pt	76.9	-11.9pt	56.4	10.2pt	72.2	3.6pt	100.0	0.0pt	46.6	8.7pt
上記以外の結婚を機に実施するウエディングフォト・写真撮影会	289	74.0	-10.6pt	75.8	-6.8pt	59.2	44.1pt	80.6	-10.5pt	74.0	7.2pt	82.4	6.0pt	82.4	5.2pt	100.0	0.0pt

【挙式・ウエディングパーティーで実現できたこと（前年比較）】 既婚編

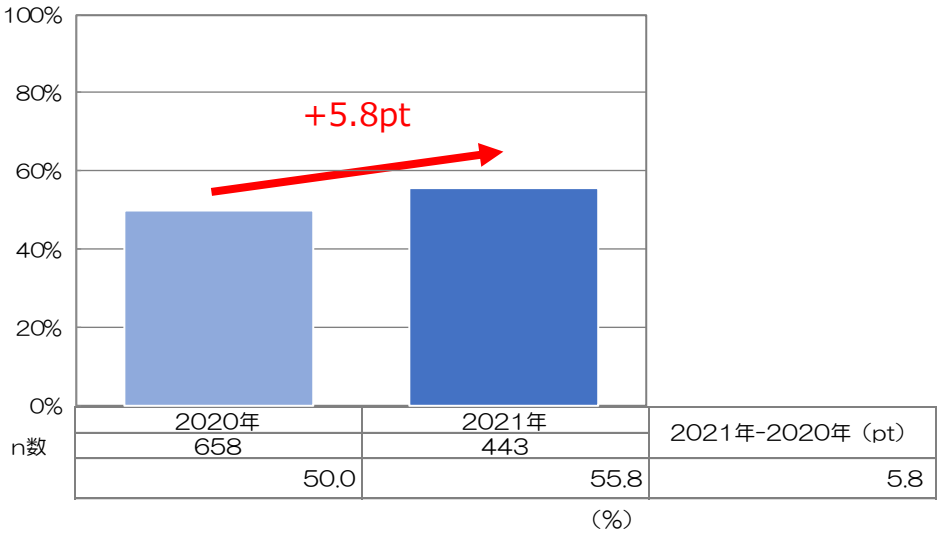
➢ **挙式、ウエディングパーティーで実現できたことは、「今後のライフプランを考えるきっかけになった」が昨年より増加。**

→ コロナ禍という特殊な状況下において、結婚という人生の節目となる挙式、ウエディングパーティーを実施することで、自分の人生を改めて考える機会になったことがうかがえる。

■ イベントが「今後のライフプランを考えるきっかけになった」割合（全体／単一回答）

※下表の数値は、各項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計
※ウエディングパーティー：「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他のウエディングパーティー」の総称。「結納・顔合わせ」「結婚（挙式）前の祝賀・婚約パーティー」「2次会」の実施は含まない

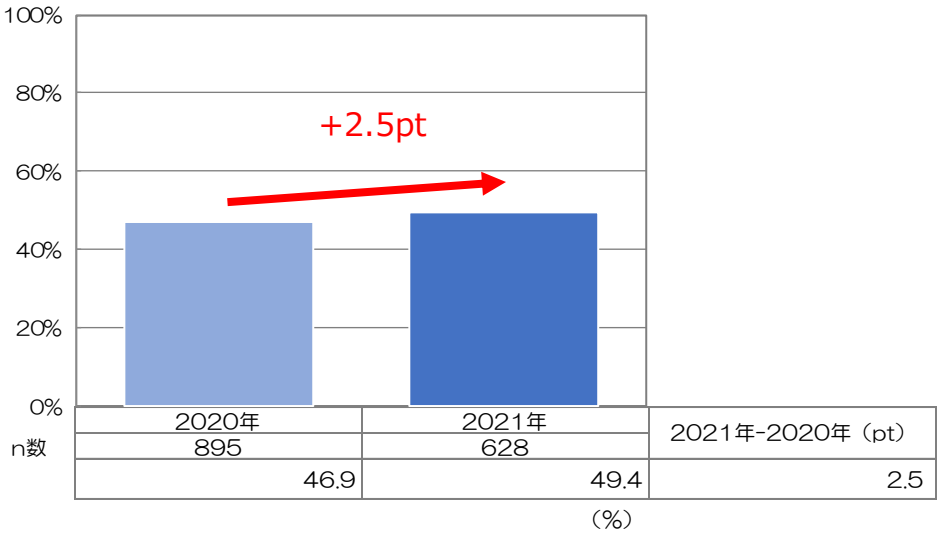
＜挙式＞



	2020年	2021年	2021年-2020年（pt）
n数	658	443	
	50.0	55.8	5.8

（%）

＜ウエディングパーティー＞



	2020年	2021年	2021年-2020年（pt）
n数	895	628	
	46.9	49.4	2.5

（%）

【結婚後の生活観（前年比較）】

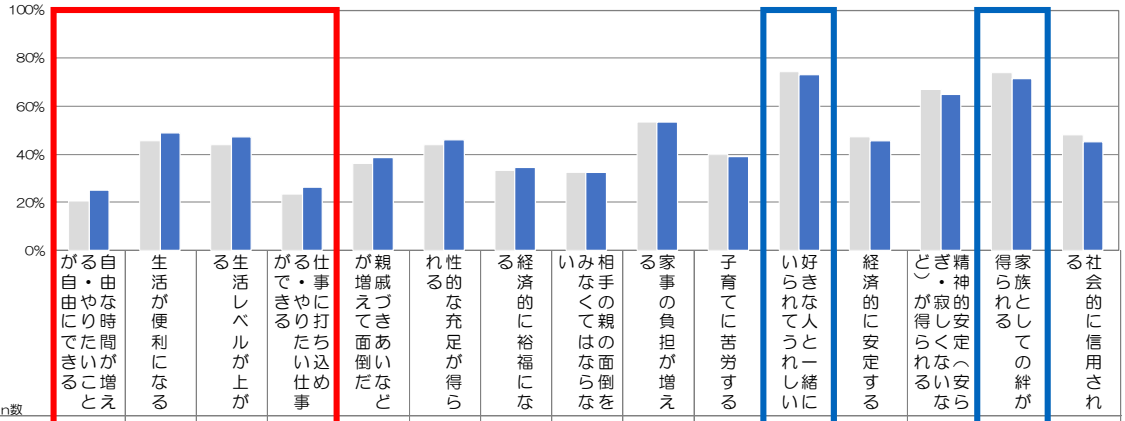
既婚編

- 結婚の捉え方は、自由な時間が増える、生活が便利になる等の実利的な側面が昨年から上昇
- 回答割合として高いのは、昨年同様、好きな人と一緒にいられてうれしい、家族としての絆が得られる、の項目

■ 結婚後の生活観（全体・男女別／各単一回答）

※下表の数値は、各項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計
※2021年-2020年の差分スコアで降順ソート

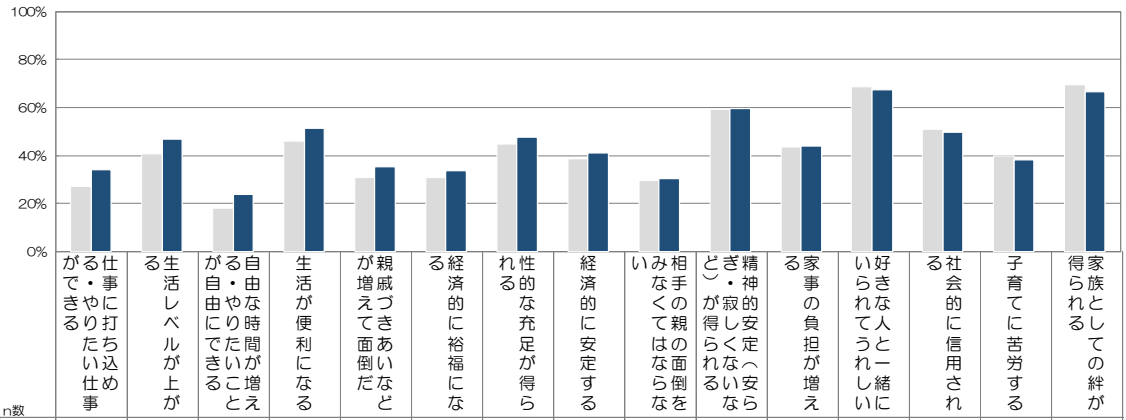
【全体】



	n数	自由な時間が増えることが自由にできる	生活が便利になる	生活レベルが上がる	仕事に打ち込めるやりたい仕事ができる	親戚づきあいなどが増えて面倒だ	性的な充足が得られる	経済的に裕福になる	相手の親の面倒をみなくてはならない	家事の負担が増える	子育てに苦労する	好きな人と一緒にいられてうれしい	経済的に安定する	精神的安定（安らぎ・寂しくないなど）が得られる	家族としての絆が得られる	社会的に信用される
2021年	1,500	24.8	49.0	47.1	26.3	38.4	46.0	34.5	32.6	53.3	39.0	73.2	45.6	65.1	71.5	45.2
2020年	1,500	20.3	45.5	43.7	23.2	35.9	43.9	33.4	32.3	53.5	39.6	74.1	47.1	67.1	73.8	48.1
2021年-2020年（pt）		4.5	3.5	3.4	3.1	2.5	2.1	1.1	0.3	-0.2	-0.6	-0.9	-1.5	-2.0	-2.3	-2.9

(%)

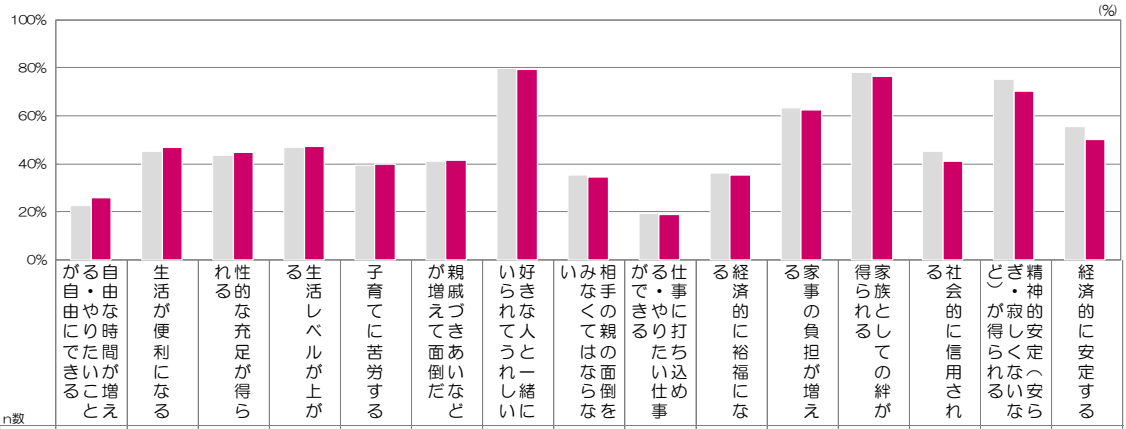
【男性】



	n数	仕事に打ち込めるやりたい仕事ができる	生活レベルが上がる	自由な時間が増えることが自由にできる	生活が便利になる	親戚づきあいなどが増えて面倒だ	経済的に裕福になる	性的な充足が得られる	経済的に安定する	相手の親の面倒をみなくてはならない	精神的安定（安らぎ・寂しくないなど）が得られる	家事の負担が増える	好きな人と一緒にいられてうれしい	社会的に信用される	子育てに苦労する	家族としての絆が得られる
2021年	744	33.9	46.9	23.7	51.3	35.3	33.6	47.4	41.0	30.5	59.7	43.8	67.2	49.5	38.0	66.7
2020年	743	27.2	40.8	18.0	46.0	30.6	30.7	44.5	38.8	29.5	59.1	43.5	68.6	51.0	40.0	69.4
2021年-2020年（pt）		6.7	6.1	5.7	5.3	4.7	2.9	2.9	2.2	1.0	0.6	0.3	-1.4	-1.5	-2.0	-2.7

(%)

【女性】



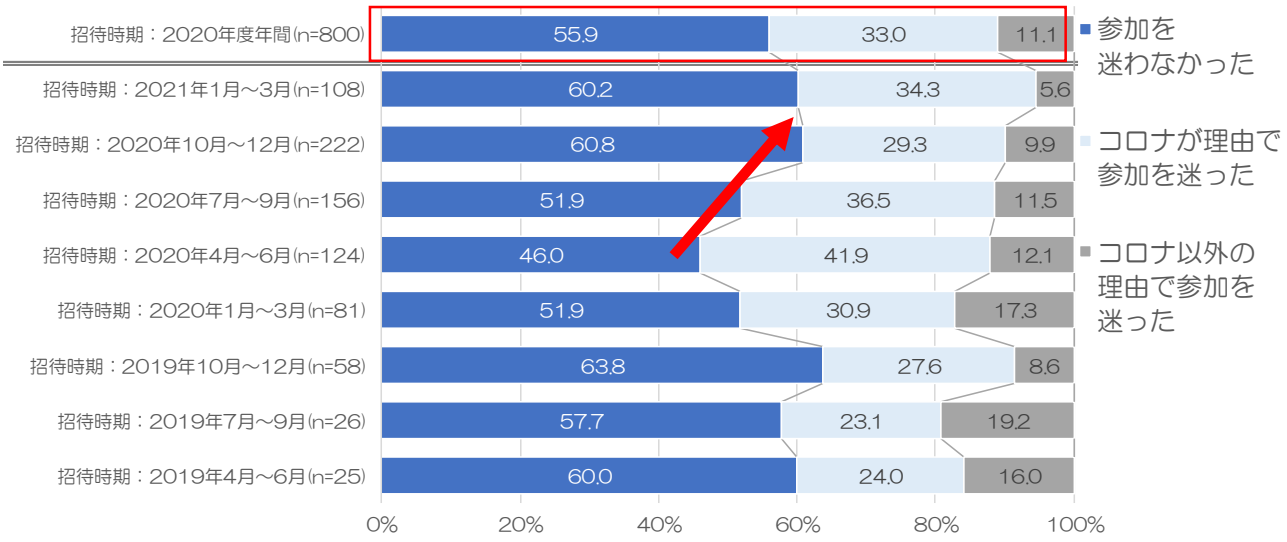
	n数	自由な時間が増えることが自由にできる	生活が便利になる	性的な充足が得られる	生活レベルが上がる	子育てに苦労する	親戚づきあいなどが増えて面倒だ	好きな人と一緒にいられてうれしい	相手の親の面倒をみなくてはならない	仕事に打ち込めるやりたい仕事ができる	経済的に裕福になる	家事の負担が増える	家族としての絆が得られる	社会的に信用される	精神的安定（安らぎ・寂しくないなど）が得られる	経済的に安定する
2021年	756	25.9	46.7	44.6	47.4	39.9	41.4	79.1	34.7	18.8	35.3	62.6	76.3	41.0	70.4	50.1
2020年	757	22.6	45.0	43.3	46.6	39.2	41.2	79.5	35.1	19.3	36.1	63.4	78.1	45.2	75.0	55.2
2021年-2020年（pt）		3.3	1.7	1.3	0.8	0.7	0.2	-0.4	-0.4	-0.5	-0.8	-0.8	-1.8	-4.2	-4.6	-5.1

(%)

【招待されたときのゲストの気持ち（経年比較）】 ゲスト編

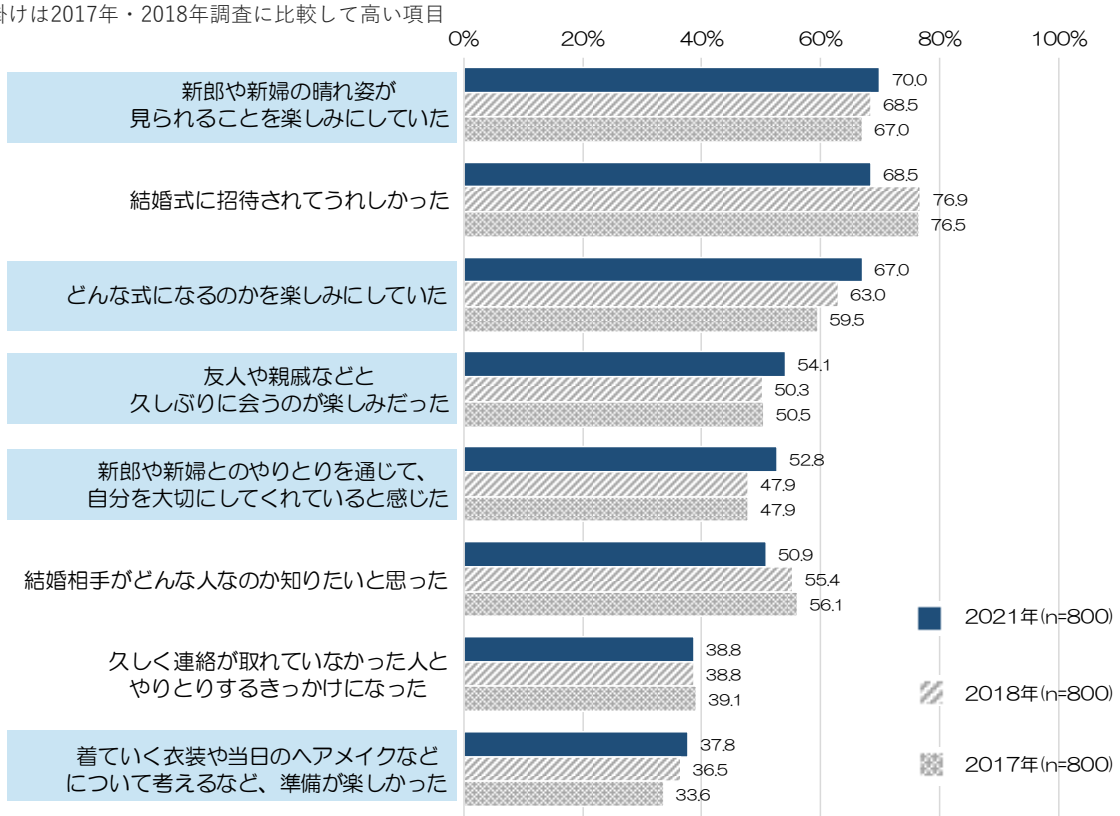
- 約半数が、2020年4月～2021年3月に出席した「挙式、披露宴・ウエディングパーティー」への参加を迷わなかったと答えた。一方、約3人に1人はコロナが理由で参加を迷ったと回答。
- 迷わなかったと答えた割合を招待時期別に見ると、2020年4月～6月を底に増加し2020年10月~2021年3月に招待された人では6割が迷わなかったと回答。
- 招待されてから出席するまでの気持ちとしては、新郎新婦の晴れ姿や、友人・親戚に久しぶりに会えることを楽しみにしていた、自分を大切にしてくれていると感じた等の割合が、過去2回の調査結果と比較して高い。

■ 2020年4月-2021年3月にゲストとして出席した「挙式，披露宴・ウエディングパーティー」への参加について≪招待時期別≫（全体／単一回答）



■ 出席するまでの気持ち（全体／各単一回答）

※下表の数値は、各項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計
※2021年調査と2018年調査に同じ選択肢がある項目のうち、2021年調査の「そう思う」計の上位8項目抜粋、かつ降順ソート
※アミ掛けは2017年・2018年調査に比較して高い項目



【出席者の気持ち：イベント出席後の評価（経年比較）】 ゲスト編

- **出席して良かった、感動した、と答えた割合は、過去2回の調査と比較して最多に。周囲の人・仲間の大切さを感じた、久しく連絡が取れていない人とのやりとりのきっかけになった、と答えた割合も前回調査よりも高い。**

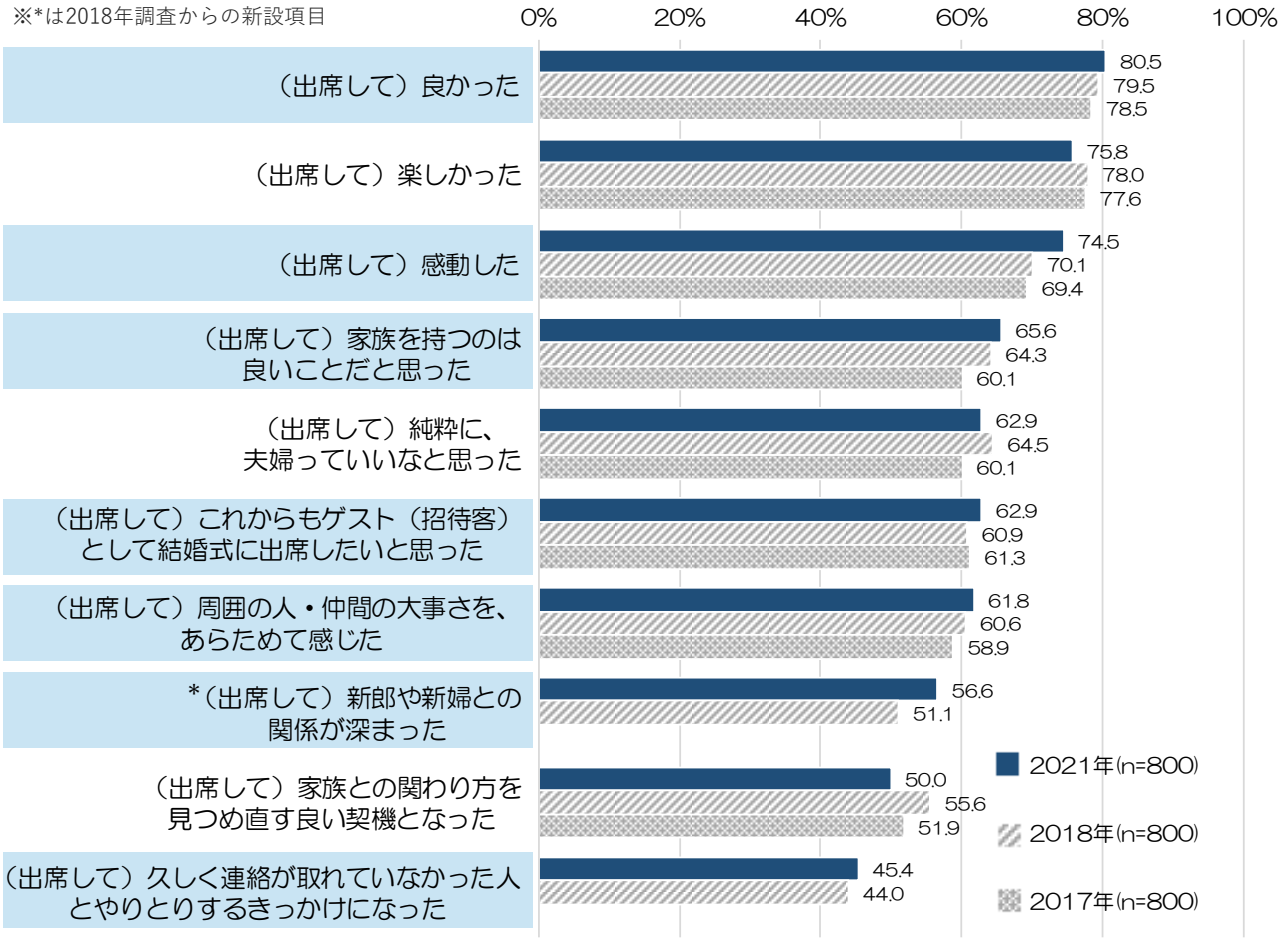
  →コロナ禍で人に会う機会が限られている影響が反映された結果と考えられる。

- **親・家族以外の出席者の良かった、楽しかった、感動した割合を年代別に見てみると、60代以上が特に高い。**

  →高齢の親族が結婚式に参加して喜んでいる様子がうかがえる。

■ 2020年4月～2021年3月の間にゲストとして出席した「挙式、披露宴・ウエディングパーティーについて」出席後の気持ち（全体／各単一回答）

※下表の数値は、各項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計
※ 2021年調査と2018年調査に同じ選択肢がある項目のうち、2021年調査の「そう思う」計の上位10項目抜粋、かつ降順ソート
※アミ掛けは2017年、2018年調査に比較して高い項目
※*は2018年調査からの新設項目



■ 2020年4月～2021年3月の間にゲストとして出席した「挙式、披露宴・ウエディングパーティーについて」出席後の気持ち　≪年代別≫（親・家族以外の出席者／各単一回答）

※下表の数値は、各項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計
※2021年調査の「そう思う」計の上位３項目を抜粋

	n数	（出席して）良かった	（出席して）楽しかった	（出席して）感動した
全体	524	79.4	74.6	73.7
20代	184	77.7	75.5	75.0
30代	137	73.0	69.3	70.1
40代	57	80.7	73.7	73.7
50代	47	78.7	68.1	68.1
60代以上	99	90.9	83.8	78.8

（%）

【出席者の気持ち：結婚式ならではの価値】 ゲスト編

- **結婚式ならではの良さだと思うことは、非日常の場での新郎新婦の幸せな姿を見られたことに対しての喜びの他に、他の出席者と交流できることや、新郎新婦と周りの人との関係性について理解が深まる等、人が集まる場としての価値が挙げられている。**
- **また、結婚式や新郎新婦の姿を通して、出席者自身が家族や夫婦の良さを改めて感じたり、自分自身や自分の大切な人・仲間について改めて振り返る場になっていることがわかる。**

■ **2020年4月～2021年3月の間に招待客として出席した結婚式について思うことの中で、他の機会では得られない、結婚式ならではの良さだと思うこと** （「イベント出席後の評価（前頁）」で、1つ以上の項目に「非常にそう思う」「ややそう思う」と答えた人／複数回答）

※上位20項目抜粋、かつ降順ソート

		n数 737
1	感動した	32.7
2	ドレス姿や特別な日の晴れ姿が見られてうれしかった	32.0
3	良かった	27.4
4	自分が大切な人の幸せな様子を見られたことや、その場に居合わせたことがうれしかった	26.6
5	結婚式に参加することで自分自身も幸せな気持ちになると思った	26.2
6	楽しかった	24.7
7	純粋に、夫婦っていいなと思った	24.4
8	二人のおもてなしの気持ちが伝わりうれしかった	23.9
9	家族を持つのは良いことだと思った	21.8
10	普段会う機会の少ない人と会う機会になった	18.9
11	これからもゲスト（招待客）として結婚式に出席したいと思った	18.2
12	招待してくれた人の配偶者の人柄や、周りの人との関係性についての理解が深まった	17.0
13	自分自身の大切な人のことを思い出す機会になり、温かい気持ちになった	16.0
14	新郎新婦が自分のことを大切に思ってくれていると実感した	15.1
15	周囲の人・仲間の大事さを、あらためて感じた	14.9
16	新郎や新婦との関係が深まった	13.7
17	日常では伝えられない（伝えていない）気持ちを、新郎新婦と自分が伝え合う機会になった	12.8
18	その後の生活の中でも自分自身と新郎新婦や他の招待客とのつながりや絆を感じる	11.3
19	家族との関わり方を見つめ直す良い契機となった	10.0
20	自分の過去や今後について考える契機となった	9.6

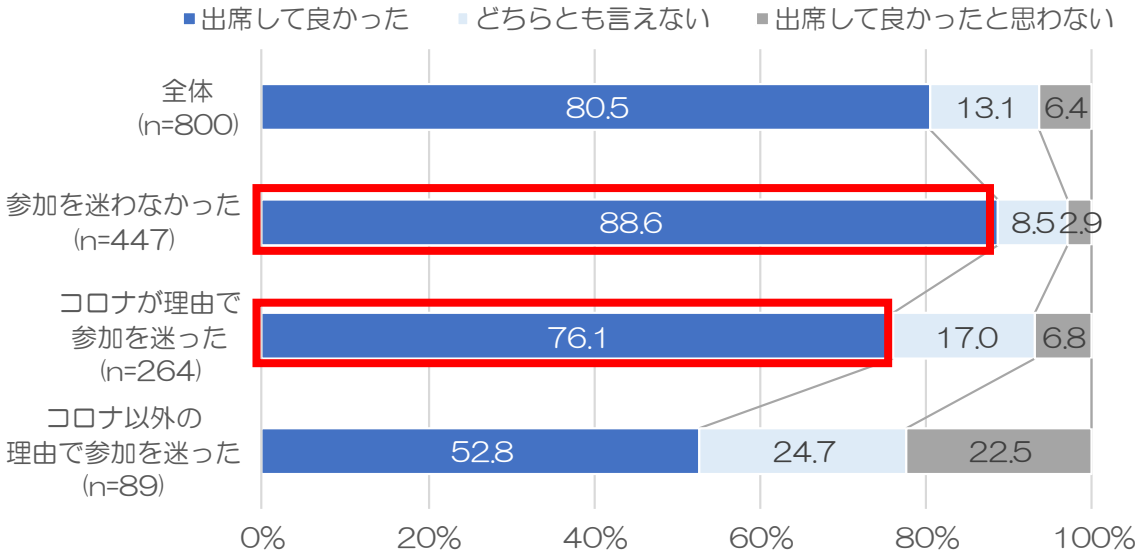
（%）

【出席者の気持ち：コロナ影響】 ゲスト編

- **参加を迷わなかった人が、出席して良かったと答えた割合は約9割。コロナが理由で参加を迷った人では、出席して良かったと答えた割合が約4人に3人。**
- **コロナが理由で参加を迷った人のうち、出席して良かったと答えた人は、出席して良かったと答えなかった人に比較して、当日の感染症対策が十分に行われていたと感じている割合が高い。当日の感染症対策の状況が、コロナにより参加を迷った出席者の満足度に大きく影響している。**

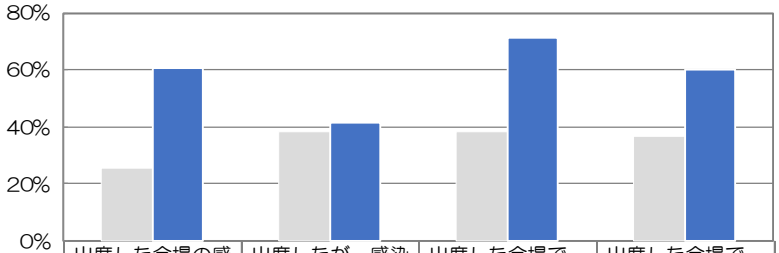
■ 出席して良かったと感じた割合　≪出席検討時の心境別≫（全体／単一回答）

※下表の数値は、2020年4月～2021年3月の間にゲストとして出席した「挙式、披露宴・ウエディングパーティー（2次会を除く）」について、【出席して良かった】と回答した結果
※出席して良かったは、「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計。出席して良かったと思わないは、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の合計



■ 満足度と当日の感染症対策の状況　≪出席後の満足度別≫（コロナが理由で迷った人／各単一回答）

※下表の数値は、各項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計
※当日の感染症対策に対しての項目を抜粋
※「感染症対策*」は「パーテーションの設置、フェイスガードやマウスガードの着用、マスクケースの配布など」と補足を表記した



	n数	出席した会場の感染対策がきちんとされていて安心した	出席したが、感染症対策の面で不安な点があった	出席した会場で、十分にアルコール消毒液の設置、配布があった	出席した会場で、テーブルコーディネートで感染症対策*が十分に行われていた
■ 出席して良かった計	201	60.7	41.3	71.1	60.2
出席して良かったと思わない計+どちらとも言えない	63	25.4	38.1	38.1	36.5

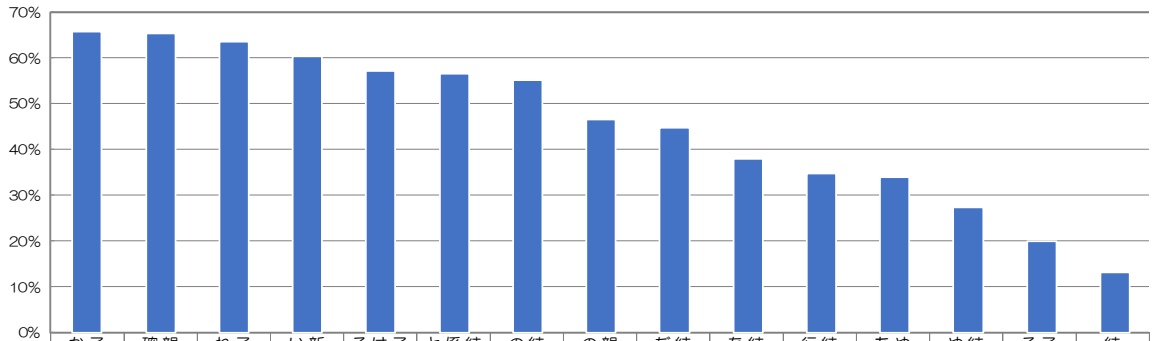
(%)

【子どもの結婚式への親の意向】　ゲスト編

- 子どもの結婚式に対しての親の気持ちの上位は、晴れ姿を見たい、うれしい、子育て卒業、周囲との関係性が見られ安心できる、など。体裁や形式よりも、親として子の幸せを願う主観的な気持ちの項目が高い。
- 男親よりも、女親のポイントが高い項目が多く、結婚式はとりわけ女親にとっての意味合いが大きい。

■ 子どもの結婚式について思うこと　≪男女別≫（子どもがいる40歳以上の親／各単一回答）

※下表の数値は、各項目について「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階で尋ねたうち、「非常にそう思う」＋「ややそう思う」の合計
※全体スコアで降順ソート



	n数	子どもの晴れ姿を見たい（見たかった）	親として、結婚する二人の幸せを確認できる良い機会だ	子どもが結婚式をしてくれるとうれしい	新婦には花嫁衣装を着せてあげたい（あげたかった）	子どもの結婚式に参加することは、自分自身が子育てから卒業する節目にもなると思う（なった）	結婚式で二人と親戚・知人との関係性が見られることで安心をする（安心した）	結婚式をした方が、二人と周囲との絆が深まる	親にとって、結婚する二人に祝福の気持ちを示すために必要だ	結婚式のような儀式や儀礼は重要だ	結婚式をした方が、二人が幸せになる	結婚式をしてくれる子どもは親孝行だ	やるなら立派な結婚式をやらせてあげたい（あげたかった）	結婚式をしないと結婚相手の家族や親戚に申し訳ない	子どもが立派な結婚式をしてくれると鼻が高い	結婚式をしないのは体裁が悪い
■ 全体	297	65.7	65.3	63.6	60.3	57.2	56.6	55.2	46.5	44.8	38.0	34.7	34.0	27.3	19.9	13.1
男親	161	58.4	55.3	59.0	50.3	54.7	47.8	46.6	41.0	41.6	37.3	33.5	38.5	25.5	21.7	14.3
女親	136	74.3	77.2	69.1	72.1	60.3	66.9	65.4	52.9	48.5	39.0	36.0	28.7	29.4	17.6	11.8
男親-女親（pt）		-15.9	-21.9	-10.1	-21.8	-5.6	-19.1	-18.8	-11.9	-6.9	-1.7	-2.5	9.8	-3.9	4.1	2.5

(%)

凡例：全体とのスコア差
+10pt以上　+5pt以上　-5pt以下　-10pt以下

『リクルートブライダル総研』研究員　豊澤 美佐子の解説

コロナ禍でも変わらなかったウエディングパーティーを実施したいという意向

『リクルートブライダル総研』
研究員
豊澤 美佐子（トヨサワ ミサコ）

今回の調査は、コロナ禍の2020年4月～2021年3月に結婚をした方が対象となっています。その影響を受け、多くの人が新型コロナウイルスの影響を受け、ウエディングパーティー（※）の延期・キャンセルを余儀なくされ、ウエディングパーティー実施率は昨年より減少しました。一方で、ウエディングパーティーを実施したいと回答した割合は昨年より微増でほぼ横ばいとなりました。新型コロナウイルスの影響で、結婚式を当たり前にできなくなった状況下でも、結婚を機に何らかのパーティーを実施したい、というニーズが減っていないことが今回の調査で明らかになりました。また、ウエディングパーティーのいずれかを実施しなかった方のうち約3人に1人は、「新型コロナウイルスの影響を受けて延期したが、いつかは実施する予定」と回答しており、コロナ禍が収束することを待っている層が一定数いることがうかがえます。

実施したウエディングイベントの組み合わせの多様化

コロナ禍で様々な制約がある中で、ウエディングイベントの組み合わせが多様化したことも今年の傾向の1つです。昨年よりも実施率が増加したイベントは、「披露宴・ウエディングパーティー、親族食事会、２次会以外のウエディングパーティー」、「エンゲージメントフォト」、「エンゲージメントフォト・スタジオ撮影・ロケーション撮影以外のウエディングフォト」の3つです。一方で、上記3イベントは、いずれも従来の主流である挙式、披露宴・ウエディングパーティー、親族食事会と並行して実施している割合が高いということも見えています。つまり、新郎新婦が、コロナ禍において「今できる」形を模索する中で、ウエディングイベントを複数組み合わせて実施し、各イベント内容をバージョンアップしながら、新郎新婦の思いを実現していた、といえるでしょう。

コロナ禍で見直されるゲストにとっての結婚式の価値

2020年4月～2021年3月の間に、結婚式に参加したゲストへの調査では、挙式、披露宴・ウエディングパーティーを楽しみにする気持ちや、出席して良かった、感動した、と答えた割合は、過去2回の調査と比較して最多となりました。また、「周囲の人・仲間の大切さを感じた」「久しく連絡が取れていない人とのやりとりのきっかけになった」と答えた割合も前回調査よりも高く、コロナ禍で人に会う機会が限られている中で、結婚式が貴重な場となったことがわかりました。ゲストごとの傾向を見てみると、60代以上（親・家族以外）の出席者の「良かった」「楽しかった」「感動した」と回答した割合が、他の年代に比較して特に高かったことが印象的でした。主催者側の新郎新婦としては、コロナ禍で高齢の方を結婚式に呼ぶことに対して悩んだ方も多かったかと思いますが、実際に結婚式に参加した高齢の方は非常に喜んでいる傾向が見られたのです。また、子どもの結婚式に対しての親の気持ちの上位は、「晴れ姿を見たい」「周囲との関係性が見られ安心できる」など、子の幸せを願う気持ちはもちろん、「子育て卒業の節目」など、親自身の今後の人生にとっての意味合いも高いということが明確になり、特にその傾向は母親で顕著に見られました。高齢化が進む現代において、親やその他の高齢の方を結婚式に招待することの意味・価値を、改めて考えさせられる調査内容でした。人と集まってお祝いするということが当たり前にできない一年だったからこそ、新郎新婦や、ゲスト一人ひとりにとっての、結婚式の意味・価値が改めて見直され、今後に向けて「結婚式のカタチ」が進化した一年になったのではないでしょうか。

※ウエディングパーティー：「披露宴・ウエディングパーティー」「親族中心の食事会」「その他のウエディングパーティー」の総称。「結納・顔合わせ」「結婚（挙式）前の祝賀・婚約パーティー」「2次会」の実施

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。
リクルートグループ：https://recruit-holdings.com/ja/　　リクルート：https://www.recruit.co.jp/